

地元の高校生が我が地域の新たな魅力を発見し、高校生目線のユニークで新しい情報を発信いたします。

# 高校生が考える

# 種子島の今と未来

今回、私たちは自分たちの住む故郷「種子島」について高校生の視点でその現状を考えてみた。種子島から連想することは何かと、尋ねてみると、「移住に最適な島」「宇宙に夢を運ぶロケット発射基地のある島」など沢山出てくる。一方、種子島の課題として、「高齢化」「人口減少」「医療制度の確立」などが挙げられた。

先日、「村おこしNPO法人ECOFF」のボランティアに参加した大学生と交流学习をした。

この中で、「高齢化の進む種子島を良くするために必要なものは何か」という問題提起がなされ、そこから出た画期的なアイデアは「高齢者へスマートフォンを普及させること」だった。そこで私たちはこのアイデアを深く掘り下げてみることにした。

今後、種子島は急速に高齢化が進むと予想されている。このような現状を受け止め、これからの種子島を良くするためには、いきいきとした高齢者が増えることが必要だと思った。

実際に、スマートフォンを持ち始めてから問もない祖母に、音声認識機能や検索の仕方、電卓や辞書など便利なツールの使い方を教えると、「こんなに便利なものならもっと早く使っていたらよかった」と、驚いていた様子だった。さらに「周りの人にもスマートフォンを教えたい」と話していた。そして「私のように子や孫が教えてくれる人は良いけれど、孫や家族が島を出てしまったり、教えてくれる人がいなくなったりする人は、分らないことが多いと思う」という問題点についても語って



くれた。

今回私たちは、高齢者へスマートフォンを普及させることについて考えた結果、多くの可能性があることを感じた。

SNSを使うことで高齢者がいきいきと生活し、脳の活性化にも繋がる。認知症を防止するアプリを開発し、認知症予防をする。子供や孫と繋がることで人生を楽しむことができる。

今、若者に害とされているスマートフォンだが、高齢者にとっては「希望」となりうるかもしれない。

(担当：一年 鎌田廉正・山口慎太郎)



## インタビュー

interview

村おこしNPO法人ECOFFのスタッフとして活動している山田さんご夫婦。夏休みに行われた高校生と大学生との交流会では、貴重な経験をさせていただき、今回話をうかがいに農園を訪ねた。お二人からは、「交流会に参加した大学生の皆さんも顔つきが変わった」と話され、お互いに刺激になったことを知ることができて良かった。今後は、「農業を観光に」という考え方に基づき、農業を通して種子島の良さを発信することも考えているそうだ。

今回、山田さんご夫婦にお話をうかがい、貴重な意見をいただくことができた。私自身、お二人と話をする中で、斬新な意見や考え方にも触れ、新鮮であった。この交流で芽ばえた新たな意見や考えなどをこれからも深めていきたい。

(取材：一年 鎌田廉正・山口慎太郎)

